

伝統的工芸品産業技術者 今年度表彰された皆さん

彦根仏壇は、彦根を代表する地場産業の一つであり、経済産業省の伝統的工芸品に指定されています。彦根市では、彦根仏壇の製造に従事し、優れた技術を持つ皆さんを表彰しています。

11月3日(水)にひこね市文化プラザで表彰式が行われました。34回目を迎えた今年度は、次の3人の皆さんが表彰されました。
問い合わせ先 商工課 ☎30-6119、FAX22-1398



中川 龍吉さん
(松原二丁目)



上田 のぶみさん
(大方町)



北川 一己さん
(鳥居本町)

電気の「子メーター」を使用している皆さんへ

電気の「子メーター」とは、貸しビル・アパートなどで一括して電力会社に支払った電気料金を、各テナントなどの電気の使用量に応じて配分するために用いる、電気計器のことです。「子メーター」は、計量法で有効期限が定められていて、電気計器前面の丸形ラベルで確認できます。この期限を過ぎたものは、取り換える必要がありますので、最寄りの電気工事店や修理業者にご相談ください。
問い合わせ先 関西地区証明用電気計器対策委員会事務局(日本電気計器検定所関西支社内) ☎06-6451-1235

平成23年度 市立幼稚園入園申込の受付

- 対象児**
3歳児 平成19年4月2日から同20年4月1日までに生まれた幼児
4歳児 平成18年4月2日から同19年4月1日までに生まれた幼児
- ◆募集人員**
- ▽城北幼稚園(松原町) 20人
 - ▽彦根幼稚園(本町一丁目) 40人
 - ※池州分園を除く
 - ▽佐和山幼稚園(芹川町) 20人
 - ▽旭森幼稚園(東沼波町) 40人
 - ▽平田幼稚園(平田町) 40人
 - ▽金城幼稚園(大藪町) 40人
 - ▽城陽幼稚園(日夏町) 20人
 - ▽高宮幼稚園(高宮町) 20人
 - ▽稲枝東幼稚園(稲部町) 20人
 - 《4歳児》
 - ▽城北幼稚園(松原町) 35人
 - ▽彦根幼稚園(本町一丁目) 70人
 - ▽彦根幼稚園池州分園(池州町) 35人
 - ▽佐和山幼稚園(芹川町) 70人
 - ▽旭森幼稚園(東沼波町) 70人
 - ▽平田幼稚園(平田町) 105人
 - ▽金城幼稚園(大藪町) 70人
 - ▽城陽幼稚園(日夏町) 70人
 - ▽高宮幼稚園(高宮町) 70人
- ▽稲枝東幼稚園(稲部町) 70人**
応募資格 本人および保護者が市内に居住していること(平成23年4月1日までに市内に居住することが確実な場合を含む)
- ◆入園申込書の交付**
期間 11月15日(月)～12月2日(休)の午前9時～午後4時(土・日曜日、祝日は除く)
- 場所** 入園を希望する幼稚園または商教育委員会学校教育課(尾末町)
- ◆入園申込の受付**
期間 11月24日(水)～12月2日(休)の午後1時～同4時(土・日曜日は除く)
- 場所** 入園を希望する幼稚園
※入園申込書と、連絡用封筒(保護者の住所、氏名を書いて80円切手をはったもの1枚)を提出してください。
- ※入園申込書の提出は、入園を希望する幼児一人に対して、市立幼稚園1園です。
- ◆問い合わせ先** 商教育委員会学校教育課 ☎24-7971番、FAX23-9190番

紅葉の名勝を特別公開

旧彦根藩松原下屋敷(お浜御殿)庭園

旧彦根藩松原下屋敷庭園は、彦根市民の大切な宝であり、新たな観光資源としても期待されます。そこで、いまだ整備の途中ですが、秋の紅葉シーズンに合わせて特別公開します。

秋の特別公開

公開期間 11月20日(土)～12月5日(日) 期間中無休
公開時間 午前9時～午後4時(入園は午後3時30分まで)
場所 松原町5-15(彦根港近辺)
料金 無料
その他

- 公開は庭園のみで、建物内は入られません。
- 説明が必要な団体は、事前にお申し込みください。
- 車でお越しの場合は、びわ湖側臨時駐車場(無料)に駐車してください。
- 庭園内で、喫煙・飲食・火気使用はできません。
- 飼犬・飼猫は、管理者が責任を持って管理して入園してください。
- 庭園内は、便所がありませんので、彦根港公衆便所をご利用ください。

旧彦根藩松原下屋敷庭園は、11代当主井伊直中により、文化7年(1810)ころに、びわ湖畔に造営された下屋敷です。

彦根藩のもう一つの下屋敷である榎御殿(玄宮楽々園)とは立地や趣も異なり、公式性を離れた井伊家の内向きの庭園を主体とした下屋敷でした。松原下屋敷の庭園は、優れた造園技術を駆使し、びわ湖の水や山の自然を活かして造られています。びわ湖の水位と連動して汀線(波打ちぎわ)が変化する汐入型式の手法を用いた池を中心とし、西側は洲浜の広がる緩やかな景観とし、東側は築山(庭に築いた小さな山)が折り重なる深遠な趣となっています。3代当主井伊直弼の時代には、「がけの御茶屋」「南台の御茶屋」「通天の御茶屋」「菊の御茶屋」の4棟の茶室も要所に設けられていたようですが、現存していません。

明治4年の廃藩置県後、彦根における井伊家の居宅はこの屋敷が用いられ、明治22年には玄関棟や大広間が増設されました。庭園については、昭和57年度に奈良国立文化財研究所(現在の奈良文化財研究所)により調査が実施され、彦根市教育委員会でも平成12年度に庭園や歴史的建造物の調査、植生調査、そして測量調査などを実施しました。

◀ 昨年の庭園の様子



これら調査により、松原下屋敷の庭園が玄宮楽々園とは様相の異なる大名庭園であり、近世の大名文化を理解するうえで欠くことのできない貴重な文化財であることが明らかになりました。そこで、平成12年度には彦根市指定文化財(名勝)に指定し、さらに翌平成13年度には国の名勝指定を受けました。また、平成14年度からは彦根市が管理団体となり、庭園の維持管理を図るとともに、庭園の公有化に努めています。今後、公有化にめどが立った段階で、国の補助と指導を得ながら、庭園や歴史的建造物の保存修理を実施し、一般公開を図っていく予定です。

※汐入型式

海水の干満を利用して池の景色を変える庭園技法。汐入型式の池をもつ旧大名庭園としては、浜離宮恩賜庭園(東京都)や養翠園(和歌山県)などが知られていますが、旧彦根藩松原下屋敷の庭園は淡水(びわ湖の水)を利用した汐入型式の手法を用いた、わが国唯一の庭園です。

錦秋の玄宮園 ライトアップ

玄宮園は、江戸時代初期を代表する「池泉回遊式庭園」を現代に伝える名園で、唐(中国)の時代の玄宗皇帝の離宮になぞらえているものです。秋色に染まる夜の玄宮園は、



▲ 昨年のライトアップされた玄宮園

屋とはまた別の表情を見せ、池に映る紅葉はすばらしい眺めです。

期間 11月13日(土)～同30日(火) 午後6時～同9時(入場は午後8時30分まで)
場所 玄宮園(金亀町)
入場料 大人500円、小・中学生200円
※昼間の彦根城・玄宮園の観覧券や、市民無料観覧券では入場できません。
問い合わせ先 (社)彦根観光協会 ☎23-0001番、FAX26-1919番